

# ゾフルーザで治療される 患者さんとその保護者の方へ



このお薬は、処方された用量を1回で服用します

## 12歳未満の小児

体重	用量・剤形(錠剤は実寸大)	処方された用量
40kg以上	40mg (20mg錠×2錠又は顆粒4包)  ×2錠 又は  ×4包	
20kg以上 40kg未満	20mg (20mg錠×1錠又は顆粒2包)  ×1錠 又は  ×2包	
10kg以上 20kg未満	10mg (10mg錠×1錠又は顆粒1包)  ×1錠 又は  ×1包	
10kg未満	1mg/kg (顆粒50mg/kg)  顆粒50mg/kg	

## 成人及び12歳以上の小児

体重	用量・剤形(錠剤は実寸大)	処方された用量
80kg以上	80mg (20mg錠×4錠又は顆粒8包)  ×4錠 又は  ×8包	
80kg未満	40mg (20mg錠×2錠又は顆粒4包)  ×2錠 又は  ×4包	

## お子さまのためにゾフルーザを飲みやすくする工夫

お薬を飲むときは、水かぬるま湯が基本ですが、お子さまが飲みにくいようであれば、以下の飲み物や食べ物で飲ませるなど、工夫してください。

## ゾフルーザと組み合わせてもよい飲み物や食べ物※



- オレンジジュース
- りんごジュース
- ぶどうジュース
- 服薬補助ゼリー
- アイスcream
- ヨーグルト
- プリン



※:これらは10mg錠及び顆粒剤の配合性試験から得られた結果であり、20mg錠については配合性試験を行っていない。



# の保護者の方に



## 異常行動による転落などの事故を 予防するためのお願い

- インフルエンザの患者さんでは、抗インフルエンザウイルス薬を服用しているかどうかや、その種類にかかわらず、異常行動と関係があると考えられる転落死などが報告されています。
- 異常行動は、
  - ① 小学生以上の小児・未成年の男性で報告が多い(女性でもあらわれる)
  - ② 発熱から2日間以内にあらわれることが多いことが知られています。

## 事故を予防するための対策

転落などの万が一の事故を防止するため、発熱から少なくとも2日間は、寝ている間でも、特に小児・未成年の患者さんが簡単に自宅の外に飛び出せないようにするために、例えば、次のような対策を取ってください。

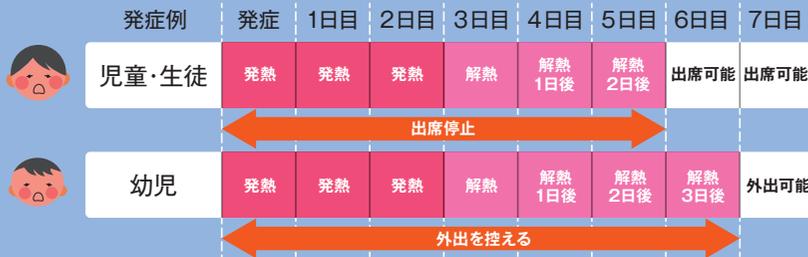
- 玄関や全ての部屋の窓に必ず鍵をかける(内鍵、チェーンロック、補助鍵がある場合は、それも使う)
- ベランダに面していない部屋で寝かせる
- 窓に格子のある部屋がある場合は、その部屋で寝かせる
- 一戸建てにお住まいの場合は、できる限り1階で寝かせる

お薬の服用後、気になる症状があらわれた場合には、  
受診された医療機関にご相談ください。

# 登校・外出における注意

## 登校・外出ができない時期について(学校保健安全法施行規則より)

発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児は3日)を経過するまでです。  
医師が感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。



※出席停止の期間は、各学校・園によっても異なりますので、  
詳しくは、各学校・園にお問い合わせください。

## 体温と症状の記録

- インフルエンザを発症した日:  月  日
- ゾフルーザを服用した日:  月  日

お名前

体 温	記入例	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
	発症後 0日目	発症後 1日目	発症後 2日目	発症後 3日目	発症後 4日目	発症後 5日目	発症後 6日目
測定時間	7:15 20:00	:	:	:	:	:	:
測定体温(℃)	39.3 40.2						
41℃							
40℃							
39℃							
38℃							
37℃							
36℃							

症 状 (3:非常に強い、2:強い、1:弱い、0:なし)

頭 痛	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①
全身倦怠感	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①
その他	③ ② ① ① ① ① ① ① せき	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①	③ ② ① ① ① ① ① ①



塩野義製薬株式会社

XFL-C-0010(V07) 審386232  
2025年10月作成